

2019 年度 運営の経過と予定

- 行事回数 ①年次大会・例会 2 回 (合計 3 回) ②合宿・巡検 2 回
③映像の会 2 回 ④海外文献の会 10 回
■刊行回数 ①『鉱山研究』95 号、2020 年 3 月発行予定
②『ニューズレター』No. 113～随時 (行事实施日の約一カ月前までに発行)

2019 年

4 月 27 日 (土) 2019 年次大会・総会 13 時 30 分～17 時

会場：東京都中央区明石町区民館 参加：8 人

総会 2018 年度運営・会計報告・2019 年度運営計画・会計予算 役員選出

5 月 14 日 (火) 『ニューズレター』No. 113 号 (映像の会案内 ほか)

付録・名簿、会計報告 会費請求

5 月 23 日 (木) 海外文献の会 神奈川県民ホール (横浜)

6 月 5 日～9 日 Mining History Conference, U.S.A. Marquette, Michigan

6 月 7～14 日 Australasian Mining History Conference, QLD, Cairns

6 月 15 日 (土) 第 51 回映像の会 13 時 30 分～16 時 30 分

会場：渋谷区立勤労福社会館

6 月 24 日 (月) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール (横浜)

7 月 20 日 (木) 『ニューズレター』No. 114 発行 (例会案内、合宿案内 ほか)

7 月 20 日 (木) 『鉱山研究』94 号発行

7 月 29 日 (月) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール (横浜)

8 月 31 日 (土) 例会 13 時 30 分～16 時 30 分 会場：中央区立京橋区民館

9 月？日 (月) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール (横浜)

10 月？日 (月) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール (横浜)

11 月 9 日 (土) ～10 (日) 鉱山合宿 持倉鉱山、三川金山 (新潟県)

11 月？日 (?) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール (横浜)

11 月？日 (?) 『ニューズレター』No. 115 発行 (映像の会 例会ほか)

12月15日（土）第52回映像の会 会場：渋谷区立勤労福祉会館（予定）

12月末日 会報原稿締切（『鉱山研究』95号 2020年3月発行）

2020年

1月？日（土）例会 13時30分～16時30分

会場：渋谷区立勤労福祉会館（予定）

2月？日（？）海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール（横浜）

2月？日 『ニューズレター』No.116 発行（伊豆巡検案内 総会案内 ほか）

3月？日（土）～？（日）第？回伊豆巡検 巡検先未定

3月？日（？）海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール（横浜）

3月中旬（？）『鉱山研究』95号発行予定

4月？日（？）海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール（横浜）

4月？日（土）2010年次大会・総会 13時30分～17時 会場：未定

例会案内

①2019年6月のMHAの年次大会で手に入れた、DVD・Cleveland-Cliffs Michigan Operation、*STEEL STARTS HERE!*（1906年、12分）を上映します。2つの鉄鉱山とプロセス施設を含むクリーブランド・クリフ事業所はミシガン州、ミシガンアッパー半島に位置している。その一つの鉱山の映像です。

これらの複合の事業所で鉄鉱石を毎年数100万トン採鉱と選鉱をして、アメリカ北部の製鉄産業で使用する鉄鉱石ペレットを生産している。

このビデオは毎年数百万トンの鉄鉱石と岩石の移動につかう無数の設備、現代の鉱業に必要な熟練した労働力などの特徴を描いている。そして技術の幅広い利用で鉄鋼鉱石ペレット生産される行程を撮影しています。

②鉱山坑木と建屋などに欠かせない木材とそのための備林について1900年代初期を中心に検討します。

鉱山は鉱物を掘りつくせばなくなってしまう。林業は造林、育成すれば永遠に生産できるはず。鉱山は鉱脈・鉱床の賦存状態で鉱山の存続期間が決定される。つまり、一方では存在鉱量がどのくらいあるかが問題で、他方は木材は伐採・利用できるまでの期間が20年～100年と長い。したがって、備林の必要性によって、一時的な木材の購入によってまかなうことになることがほとんどである。

鉱山業と林業の業態の違いをよく理解する必要がある。別子銅山や足尾銅山の例とともに、使用する樹種、坑道枠・採掘法による支保の違いなどを説明します。

鉱山備林が鉱山に必要なかといえば、現代では当面必要ない。

■日時：2019年8月31日（土）13時30分～17時（予定）

■報告：① CD 上映「クリーブランド - クリフ鉄鉱山 (U. S. A. ミシガン州)

③村田 淳「鉱山備林概論

樹種、坑木、坑道柱など」

■会場：京橋区民館 7 号和室

中央区京橋 2-6-7

Phone：03-3561-6340

地下鉄銀座線京橋下車

出口 6 徒歩 2 分

都営浅草線宝町下車

出口 A 6、A 5 徒歩 2 分

■問合せ先：村田 淳

電話：045-401-5259



持倉鉱山・三川鉱山合宿案内

持倉鉱山はかつて訪れ、鍛煉瓦でつくられた鉱業事務所に圧倒されました。初めての会員が多いので再訪します。また阿賀野川の反対側（北）にある三川鉱山にも訪れます。ともに新潟県東神原郡阿賀町（旧三川村）にあります。

三川鉱山は天文 2 年（1534）に茂助が開山し、金銀鉱を採掘。明治 33 年（1900）に大谷金山と改称、青化法で処理した。明治 39 年（1906）日本金鉱となり、銅鉱の採掘、製錬を行った。昭和 7 年（1932）日本鉱業との共同経営となり、三川鉱山と改称し、昭和 15 年（1940）3000 トン／月の選鉱所が完成し、最盛期を迎えた。その後日本鉱業の単独経営となり、亜鉛精錬を行い、昭和 36 年（1961）休山した。鉱床は浅熱水性の金・銀・銅・鉛・亜鉛・硫化鉄鉱鉱床。三川村新谷には、坑口、選鉱所、沈殿池や住宅などの遺構や友子の墓も残されている。

持倉鉱山は高温接触交代鉱床いわゆるスカルン鉱床で主として銅と亜鉛を産出していた。17 世紀後半に銀を採掘していたと言われ、銅は享保年間に発見され、会津藩時代は銅を採掘、製錬していた。明治大正時代に盛況となり、1919 年（大正 8）に三井鉱山が買収したが、1920 年（大正 9）に休山した。その後探鉱や試錐を繰り返したが、有望な鉱床や鉱脈が発見できずに閉山した。

持倉鉱山の例会報告や『鉱山研究』に寄稿した、阿賀野市在住の、小田辰兵衛さんにお世話になります。

注意：ヘルメットは必ず持参し、見学時は常時被ることを義務づけます

■日程：2019 年 11 月 9 日（土）～11 月 10 日（日）（1 泊 2 日）

■集合時刻と場所：10月31日（土）11時00分 JR新潟駅レンタカー事務所
上越新幹線（とき307）東京発8：24→10：28、（とき359）8：32→10：39 新潟着
夜行バスが新宿、池袋と横浜発、新潟行があります。料金は新幹線の半額位です。

■行程：

◎11月9日（土）午後 弁当持参、（新潟駅～阿賀町約1時間）

13：00～16：00 三川鉱山（選鉱所跡、溶解炉跡、沈殿池、事務所跡ほか）、

17：00 三川温泉宿泊

◎11月10日（日）7時30分朝食 8時30分出発 弁当持参

9：30～13：00 持倉鉱山（鉱業事務所跡 製錬所跡 溶解炉ほか）昼食持参
（事務所跡まで徒歩で片道約1時間、藪こきが必要、有志は携帯の鉋、鋸持参）

14：30 帰路発 16：00 時 JR新潟駅解散。

上越新幹線（とき332）新潟発16：16→18：20、（とき334）16：23→18：40、
（とき336）16：56→19：00 東京着

■服装・装備：藪の中を歩きますので、服装は丈夫で汚れてもいい長そで上着とズボン、足元のしっかりした靴あるいは長靴。ハンマー（あればよい）。ヘルメットは常備。杖があればより安全。

*持倉鉱山の精錬所に行くには川を渡ります。水量しだいで、丈の高い長靴が必要、持参が難しいばあいと、川床に鋭利な石英があるので、怪我をする可能性があります、裸足での渡渉は危険です。そこで濡れてもよい軽い別のズックが持参。

*また「あぶ」に刺される恐れがあるので、ねんのため帽子とネットを持参。ネットは園芸店か山の道具店にあります。

■宿泊：阿賀町近辺（三川温泉）、交渉中

■参加費：15,000円程度（予定）（集合場所までの交通費と昼食代を除く）

■申込締切り：2019年10月6日（日）厳守。参加人数によってレンタカーの手配がありますので、締め切り日をすぎた場合は、参加できないことがあります。

■申込み、問合せ：村田淳 メール：sunao-murata@asahinet.jp

電話・FAX：(045)401-5259 住所：221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

海外鉱山文献読書会の案内

テキストは、鉱山史の分野で著名なクラーク・C・スペンスの代表作の一つで、19世紀後半の英国人によるアメリカの鉱山への投資について書かれています。

英語の勉強がしたい方、鉱山の国際会議や海外の鉱山に関心のある方、一緒に英語を勉強しませんか？ 英語が苦手という方こそ奮ってご参加ください。

関連する話題を話し合うこともしますので、翻訳の担当をせずに聴講するだけでもかまいません。

【テキスト】Spence, Clark C. *British Investments and the American Mining Frontier, 1860-1901*. University of Idaho Press, 1995.

【日時】7月29日（月）15時30分から約1時間30分

【会場】神奈川県民センター9, 10階、NPO談話室（JR横浜駅南口徒歩5分）

【参加費】無料 【テキスト】自分で用意してください

【ウェブサイト】<http://www.jmrs.sakura.ne.jp/reading/>

【連絡先】村田 淳 電話：045-401-5259 メール：sunao-murata@asahinet.jp

【注意事項】参加希望者は必ず事前にご連絡をください。

受贈図書、新・旧刊資料案内

受贈

◎九州大学記録資料館『エネルギー史研究—石炭を中心に—』No. 34、2019. 3
論説

加藤健太「電力国家管理と宇治川電気—経営者・林安繁と株主との対話—」

資料紹介

池上重康「『三井鉱山五十年史稿 卷十六』より

第十編 労務 第三節 会社自体が行って来た労務管理施設

第四項 住宅管理

秀村選三「（福岡県）「内政部長事務引継書」（二）

書評 山田由等：北沢満編『軍港都市史研究Ⅴ 佐世保編』、宮地英敏：中澤秀雄・嶋崎尚子編『炭鉱と「日本の奇跡」石炭の多面性を掘り直す』

◎九州大学 記録資料館 産業経済資料部門『石炭研究資料叢書』No. 40、2019. 3

会社史 三菱合成工業株式会社、筑豊主要炭山賃銭支払制度見学報告

◎九州大学付属図書館付設記録資料館『ニューズレター』2019 Vol. 13

例会報告者の募集

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告20分質疑応答10分に比べ、報告約1時間、質疑応答30分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉱山に関係があるものであれば分野を問いません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。また報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

＊問い合わせ、申し込みあるいは報告可能な人の情報などを、村田淳か役員に。

『鉾山研究』原稿募集

内容は鉾山に関係するものであれば、分野を問いません。お手元にある資料や研究ノートの内容でもかまいません。

原稿はできればメールあるいは電子データで村田にお送りください。その際、原稿指定という作業の必要上必ず、プリントアウトした原稿と図版を郵便で送ってください。編集者がプリントアウトする手間と時間がかかりますので、必ずお願いします。

なお採否は編集担当が審査します。原稿は原則として見出し、図版を含めて 10 頁以内（1 頁 1,638 字×10 頁）、字数は全て文字数に換算すると 16,380 字以内です。ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

■締切：2019 年 12 月末日

■発行：2020 年 3 月中旬の予定

■問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Phone ・ Fax : 045-401-5259 メール：sunao-murata@asahinet.jp

会費滞納と会員資格についてのお願い

会費を 3 年度以上滞納の場合は、退会の手続きをとらせていただきます。

会員を継続する意思のあるかたは至急会費の納入をお願いします。あるいは退会を希望するばあいは、齋藤和美または村田淳にその旨を連絡してください。

滞納のないようよろしくお願いします。

『鉾山研究』94 号の解説困難な図版について

印刷所の事情で読み取るのが困難な図版がいくつかあります。ご希望があれば、その部分のコピーをお送りしますので、村田 淳までご連絡をお願いします。

案内の変更のお知らせについて

経費削減のために、例会、映像の会、合宿などの案内内容の変更がある場合は、メールが利用できる会員には、その案内はメールのみで郵送はしません。郵送を希望する場合はその旨を村田 淳に連絡してください。

メールを利用していない会員には郵送します。